



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東 大

上場会社名 東海リース 株式会社

コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三木 伸之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理会計部長

(氏名) 西 彰一

TEL 06-6352-0001

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,549	△42.0	△31	—	△49	—	△60	—
24年3月期第1四半期	4,399	145.3	348	—	332	—	286	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 30百万円 (△90.8%) 24年3月期第1四半期 333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△1.73	—
24年3月期第1四半期	8.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	26,529	14,681	53.1	405.00
24年3月期	27,485	14,825	51.9	409.94

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,092百万円 24年3月期 14,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	6,100	△20.0	280	△40.9	260	△41.8	210	△41.1	6.04
通期	12,700	△12.9	580	△19.5	550	△17.1	440	△25.7	12.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	34,943,225 株	24年3月期	34,943,225 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	147,133 株	24年3月期	146,684 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	34,796,261 株	24年3月期1Q	34,797,814 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興へ向けて本格的に動き始めたものの、進まぬがれきの処理や復興計画の遅れ等、問題が山積しており、景気全体としては緩やかな回復傾向にとどまっております。

また、円高や欧州の経済危機問題、また、アジア経済の減速等の影響を受け輸出は伸び悩み、貿易収支は東日本大震災以降1年以上にわたって赤字が続くなど、企業業績は懸念材料を抱え、引き続き予断を許さない状況が続いております。

仮設建物リース業界におきましても、応急仮設住宅の反動により売上高の大幅減は不可避であり、復興関連工事に伴う需要では補いきれず、減収を余儀なくされております。

このような状況におきまして当社グループは、東北地区を重点地域として積極的な営業活動を行い、受注活動は堅調に推移しておりますが、計画の実施の遅れ等により、当第1四半期の業績に大きく反映はしておりません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,549百万円（前年同四半期比42.0%減）となりました。損益面につきましては、営業損失は31百万円（前年同四半期は348百万円の営業利益）、経常損失は49百万円（前年同四半期は332百万円の経常利益）、四半期純損失は60百万円（前年同四半期は286百万円の四半期純利益）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高2,425百万円（前年同四半期比43.2%減）、中国が124百万円（前年同四半期比63.5%減、セグメント間取引消去後124百万円（前年同四半期比4.7%減））となりました。また、営業損失は日本が32百万円（前年同四半期は368百万円の営業利益）、中国が1百万円（前年同四半期は30百万円の営業利益、セグメント間取引消去後は0百万円の営業利益（前年同四半期は19百万円の営業損失））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より956百万円減少し、26,529百万円となりました。理由の主なものを受取手形及び売掛金の減少831百万円であります。

負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より811百万円減少し、11,848百万円となりました。理由の主なもの支払手形及び買掛金の減少811百万円であります。

純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より144百万円減少し、14,681百万円となりました。理由の主なもの配当金の支払173百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済の見通しについては、欧州の経済危機等による全世界的な景気の先行き不透明感が当面続くものと思われまます。

当社グループを取り巻く環境といたしましても、応急仮設住宅の反動による影響を最小限にとどめるため復興需要の深耕や開拓に邁進してまいります。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点の予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,786	3,450
受取手形及び売掛金	8,446	7,614
商品及び製品	127	127
仕掛品	5	31
原材料及び貯蔵品	466	471
その他	231	253
貸倒引当金	△57	△60
流動資産合計	13,005	11,888
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産(純額)	5,398	5,434
建物及び構築物(純額)	2,278	2,258
土地	4,982	4,982
リース資産(純額)	1,088	1,219
その他(純額)	125	125
有形固定資産合計	13,873	14,020
無形固定資産		
投資その他の資産	238	268
投資有価証券	112	100
その他	241	239
投資その他の資産合計	354	340
固定資産合計	14,466	14,629
繰延資産	14	11
資産合計	27,485	26,529
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,175	2,363
短期借入金	878	1,056
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
リース債務	404	435
未払法人税等	122	26
前受リース収益	2,505	2,485
賞与引当金	210	8
役員賞与引当金	22	—
設備関係支払手形	59	105
その他	505	792
流動負債合計	8,884	8,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
固定負債		
社債	600	500
長期借入金	2,095	1,964
リース債務	377	411
繰延税金負債	25	23
退職給付引当金	549	546
役員退職慰労引当金	127	128
固定負債合計	3,775	3,574
負債合計	12,660	11,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032	8,032
資本剰余金	5,637	5,637
利益剰余金	1,018	784
自己株式	△26	△26
株主資本合計	14,662	14,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	6
為替換算調整勘定	△412	△342
その他の包括利益累計額合計	△397	△335
少数株主持分	561	588
純資産合計	14,825	14,681
負債純資産合計	27,485	26,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,399	2,549
売上原価	3,419	2,047
売上総利益	979	502
販売費及び一般管理費	630	534
営業利益又は営業損失(△)	348	△31
営業外収益		
受取利息	0	2
スクラップ売却益	5	3
その他	5	4
営業外収益合計	11	10
営業外費用		
支払利息	14	21
支払手数料	6	—
その他	6	5
営業外費用合計	27	27
経常利益又は経常損失(△)	332	△49
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	10	4
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322	△53
法人税、住民税及び事業税	37	8
法人税等調整額	4	2
法人税等合計	41	11
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	280	△64
少数株主損失(△)	△5	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	286	△60

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	280	△64
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△7
為替換算調整勘定	55	103
その他の包括利益合計	52	95
四半期包括利益	333	30
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	2
少数株主に係る四半期包括利益	3	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	4,268	130	4,399	—	4,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	210	210	△210	—
計	4,268	340	4,609	△210	4,399
セグメント利益又は損失(△)	368	30	399	△50	348

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の日本セグメントの資産の金額が2,826百万円増加しておりますが、その主な理由は、応急仮設住宅売上等による受取手形及び売掛金の増加1,492百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,425	124	2,549	—	2,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	2,425	124	2,550	△0	2,549
セグメント利益又は損失(△)	△32	△1	△33	1	△31

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。